

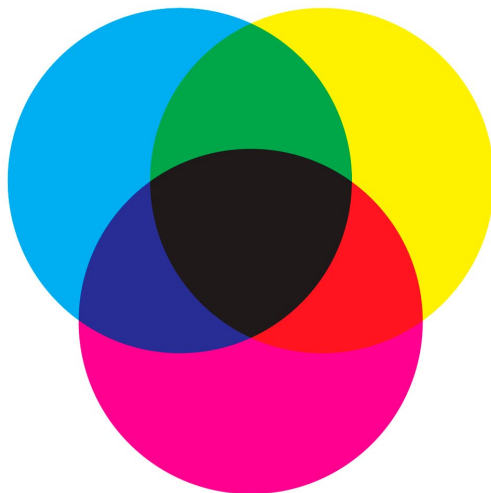


# 三原色

さんげんしょく



加法混色



減法混色

## 概要

三原色 (three primary color、three primaries) とは、混ぜることによってすべての色をあらわすことができる、三つの原色をいいます。多くの色は、複数の色を混ぜ合わせるによって作ることができますが、混色をしても作りだすことができない有彩色があり、これを原色といいます。原色をさらに分解することはできません。色には光そのものの色 (光源色) と、光が物体に当たって反射・吸収・透過した際に生じる色 (物体色) があり、このどちらであるかによって原色が異なります。前者は太陽光やパソコンのモニタ画面などであり、後者は絵具や染料などを含む、それ自体が発光しない物体の色を指します。

光源色の原色は、レッド (Red) ・ グリーン (Green) ・ ブルー (Blue) で、これら三色を混ぜていくと白 (無彩色) になります。このように、もとの色より混色された色の明度が高くなる混色を、加法混色といいます。物体色の原色はシアン (Cyan) ・ マゼンタ (Magenta) ・ イエロー (Yellow) で、これら三色を混ぜていくと黒 (無彩色) になります。このように、もとの色より混色された色の明度が低くなる混色を、減法混色といいます。なお、カラー印刷では、シアン・マゼンタ・イエローの三色と黒インクの掛け合わせによって、色を再現する仕組みになっています。

※掲載している図版は、PC モニターでの閲覧を前提に作成したもので、実際の色彩と異なる場合があります。